

ふれ愛にほうち



第11号

太田西ノ内病院広報誌・第11号

発行/財太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集/太田西ノ内病院広報委員会

発行日/平成15年9月

住所/郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024) 925-1188

ホームページ: <http://www.ohta-hp.or.jp/>



診療科紹介

整形外科

整形外科は医師7人で業務を行っています。外来診療は午前と午後の両方ですが、午後の外来は初診の患者さんのみの診療となっています。専門外来としては1ヶ月に1度股関節外来を昭和大学整形外科宮岡英世教授に来ていただき、変形性股関節症・特発性大腿骨頭壊死・先天性股関節脱臼・ペルテス病・大腿骨頭すべり症などの股関節の病気を中心に福島県の広い範囲から数多くの患者さんが来院されています。また外来だけではなく、骨の角度を変えたり回転させたりすることによって関節の適合性を良くする骨切り手術や変形が進行して痛みが強い場合に対する人工股関節置換術などの手術も行っています。病棟業務は主に5C病棟・5B病棟・救急棟で約50人から60人の入院患者さんの治療を行っています。病院の性格上どうしても外傷（たとえば骨折、脱臼など）の患者さんが大半です。手術については、予定手術は（火・木・金の午後に行っています）が、救急患者さんなどに対しては必要があれば深夜でも手術を行っています。手術件数は年間600件前後ですが多発外傷の場合には一人の患者さんで3カ所以上の手術を行うこともあります。整形外科の診療範囲は非常に広く、

主に背骨・四肢の骨・筋肉・腱・神経の病気やケガを対象としています。患者さんの年齢層も広く、先天性疾患（内反足・股関節脱臼・側彎症）は新生児期に受診されることが多く、変形性関節症や骨粗鬆症などは主に老人の病気になります。そのため病気の数も非常に多く、また同じ病気やケガであっても患者さんの年齢によって治療法や治療成績に大きく違いが生じることもあり、医学部の学生にとっては非常に勉強しづらい領域です。そのため他の人と症状が同じであったり、ケガの原因が同じ（たとえば追突事故）であるからといって同じ診断で同じ治療方法でよいとは限らないのです。またその医者によって治療法が大きく異なるのも整形外科の特徴かもしれません。最近のブームで新聞・テレビ・週刊誌などでさまざまな病気に関する情報が氾濫しています。整形外科に関係する内容もあり、その中には非常にわかりやすく適切な治療方法をアドバイスしているものもあれば、そうでないものもあるようです。中途半端な判断をする前に整形外科に1度受診されることをお勧めします。



整形外科スタッフ

西ノ内見聞録

救命救急センター

当院救命救急センターは集中治療棟、救急治療棟、それに昨年4月からリニューアルオープンした救急外来（ER）の3単位からなります。現在スタッフは、医師7名、看護師62名、ナースエイド6名で24時間体制の救命医療を行っています。看護師の平均年齢は28・15歳という若いメンバーで構成されています。

救命センターの自慢は、医師とともに患者さんの救命を第一に考え、治療・看護することは勿論ですが、常に患者さんにとって何が良いかを最優先に考えております。また、救急の入院は快く受けるということ心をかけております。当然病室はすぐにいっぱいになってしまいますが、一般病棟の協力があるからこそスムーズな受け入れができるという訳です。現在看護師不足はこの病院においても同様、当救命センターにおいても例外ではありません。そんな中でも看護師は洗濯や清拭などの清潔ケアに力を注ぎ、救命センターの患者さんはこざっぱりしているなあ、と自画自賛しております。また呼吸器療法にも力を注いでおり、長期に呼吸器をつけている患者さんや低体温療法でリスクの高い患者さんでも無気肺などの肺合併症が少ないことも自慢のひとつです。

救命センターという以前は、独身者がほとんどを占めていましたが、現在は16名が既婚者であります。とても喜ばしい限りですが反面、独身ナースの約10名が30代ということで、多少管理者としての責任を感じております。しかしそのおかげでセンターは成り立っているといっても過言ではありません。

患者さんを最優先に考えた、より良い医療をめざしスタッフとともにこれからもがんばりますのでよろしくお願い致します。

救急棟（HCU）は、集中治療棟と同じ救命救急センター内の一単位で、本館3階西側にある30床を有する病棟です。救急搬送や院内においての急変など、重症な患者さんが入院され、治療を受けていらつしやいます。昼夜を問わない緊急入院、また多岐に渡る治療・看護にスタッフ一丸となり対応しています。

看護スタッフは25名です。できるだけベッドサイドに赴き、患者さんやその家族との対話を持ちながら看護ケアを提供することをモットーとし、日々努めています。

病棟の特質上、多忙なのは当然ですが、私たちも「人の子」。あまりの忙しさに体も心も疲れてしまふことが有ります。そんな時、病状が安定され他病棟に転棟となる患者さんや、笑顔で軽快退院

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その内容にせまってみたいと思います。

されていく患者さんの姿をみると、スタッフ全員元氣になれます。

緊迫した場面が多い部門ではありますが、患者さんに安定感を与えられるよう、スタッフ一人一人これからも自己研鑽に努めていきたいと思ひます。

集中治療棟（ICU）は、救命救急センター内の一つの単位で、本館3階の東側の棟に10床を有している病棟です。

ICU内はワンフロアになっており、モニターや人工呼吸器、その他の医療機器が患者さんのベットの周りを取り囲んでおり、一見物々しい雰囲気があります。それとこのICUは郡山市を中心とした広域の三次救命救急患者さんや院内で発生した重篤な状態にある患者さんに医療を提供するところであり、24時間全ての診療科に対応しているからなのです。

このような所で働いているスタッフは、さぞかし難しい顔ばかりしているのではないかと思います。マスクをかけて仕事をしているため目だけでしか表情をお伝えできないということも一因になっているかもしれません。



救命救急スタッフ

かし、皆、患者さんの病状や家族の方々からのお言葉に一喜一憂し、いつもマスクの下で笑顔を絶やさない若さとパワーのあるスタッフばかりです。これからも地域の皆様様の安心のため日夜努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

くすりの広場① 新調剤システム



調剤とは、単純にお薬を混ぜ合わせたり分包（1回分ずつ分けて包装すること）したりすることではありません。薬剤が安全に使用され有効性が保たれる様に、薬剤師の知識を注ぎ込んで実施される業務です。そして、患者様に正しく服薬して頂けるよう、服薬の説明を行っています。しかし、入院中ははじめてお薬を服薬するケースや今まで服薬したことのない種類のお薬が処方になるケースが多く、間違った服薬をしてしまう危険が大きくなります。このように、服薬が正しく守られないことを、専門用語で「ノンコンプライアンス」と呼びます。

入院調剤室では、以前からノンコンプライアンスや病棟スタッフの管理を考え、「一包化調剤」を行っておりました。一包化調剤とは、（例えば朝に服用するお薬を全部まとめるという）服用時間単位で服用する薬剤を一つにまとめて分包することです。以前は、一包化した分包紙に患者様の氏名や服用時間を表記しておりましたが、「氏名がカタカナで表記文字が小さい」、「印字が薄くて確認しづらい」、「薬袋の中にどんな薬剤が入っているのかわからない」などの指摘を、患者様や病棟スタッフ

から寄せられていました。

そこで2002年10月のオーダーリング開始に伴い、これらのデータを有効活用してこれらの問題を解決できる「調剤支援システム」を導入しました。このシステムでは、医師が処方データをコンピューターへ入力すると薬剤部へデータが送られ、錠剤、カプセル剤であれば錠剤分包機により一包化が自動で行われます。その際、患者氏名や服用時間の表示は以前の機器よりも文字が4倍大きく、濃さも数倍濃いもので氏名も漢字表示が可能であり、非常に確認し易くなっています。さらに薬袋についても、流れてきたデータで自動薬袋作成機が医薬品の情報を印字しますので、薬剤名の表記も可能となり、患者様や病棟スタッフから大好評を得ております。

これとは別に、最近調剤過誤がメディアでも取り上げられております。特に散薬は薬剤の性質上判別が難しく、倍量投与や薬剤の取り違いミスなどの事故が発生し報道されました。今回導入した調剤支援システムには「散薬監査システム」という機能があります。これは、万一、間違った種類の散薬や間違った量を秤量しても、すぐにコンピューターが知らせてくれるシステムで「安全面」を重視したものです。

しかし、このように新しい機器を導入しても、当然のことですが最終的に薬を監査し交付するのは私たち薬剤師です。これら機器を有効に活用し、より質の高い調剤を行っていきたいと考えております。

（田崎政則）



検査あらがると 病理検査について

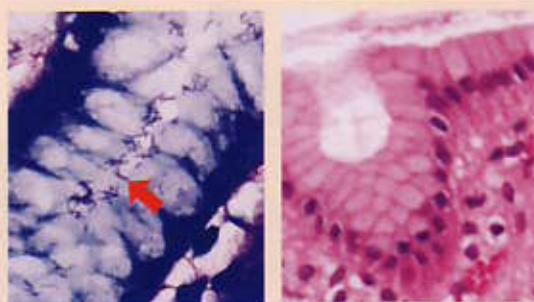
病理検査には、組織学的検査、細胞学的検査、病理解剖などがあります。組織学的検査は、生体から切除した組織、例えば胃や腸の内視鏡検査の際採取した小さい組織（生検）や手術して摘出した臓器（胃、腸、肺、子宮、乳房など）から顕微鏡標本を作製し、病理医により診断がなされます。細胞学的検査は、子宮、膀胱、尿などから採取した細胞の標本を作製し、細胞学的に診断する検査法で癌検診にも用いられます。病理解剖は、御家族の承諾のもとに病気で亡くなった患者さんの疾病の原因、診断および治療効果の究明の為に行われます。このような病理検査では、体のさまざまな部分から採取された組織や細胞を検査します。

皆さんの中には、胃の内視鏡検査で組織の一部を採取し組織検査を受けた経験のある方もいらっしゃると思います。今回は採取された胃の組織がどのような過程を経て診断に至るのかを説明したいと思います。

◎病理組織標本作製の順序 固定→包埋→薄切→染色

採取された胃の組織は、数mm程度のとても小さいものです。それをホルマリンという組織を腐敗させない為の液に一日ほど浸けておき（固定）、次の日に丸一日かけて特殊な処理を行い、パラフィンという、ろう状の物質の中に埋め込みます。（包埋）それをミクロトームという機械で手作業によりミクロン（1/1

000mm）という薄さに切り（薄切）、スライドガラスに貼り付けます。最後に細胞や組織の構造がよく分かるように色付けします。（染色）こうして病理組織標本は3日程かけて出来上がります。標本は、病理医が顕微鏡で鏡検して、見出された病変により病理組織診断が下されます。それでは胃の組織は顕微鏡でどのような



に見えるのでしょうか。写真右に示すのは、HE染色した正常な組織像です。

左に示すのは、ギムザ染色した組織像です。矢印に示す小さい棒状のものは、ヘリコバク

タービロリ菌と言われ胃炎や胃潰瘍の主な病因とされています。

病理組織診断は患者さんの治療方針を決める上で重要な役割を果たしています。私達スタッフは、迅速、正確に良好な病理組織標本作製することに日々努めています。

（穴戸ひろ美）

予約診療と予約センター

当院では、患者様の来院から診察までの待時間を少なくするため一部の科で予約診療を実施しております。現在実施している科は次のとおりです。

糖尿病科、消化器科、循環器科、呼吸器科、総合診療科、腎内科、心療内科、形成外科、小児科の一部

予約診療のしくみ

①診察終了時に医師から次の日の診察日の「予約指示票」を受取る

②それをもとに予約センターで係員と都合のよい日時を決め「診療予約票」を受取る

③予約完了、当日来院する

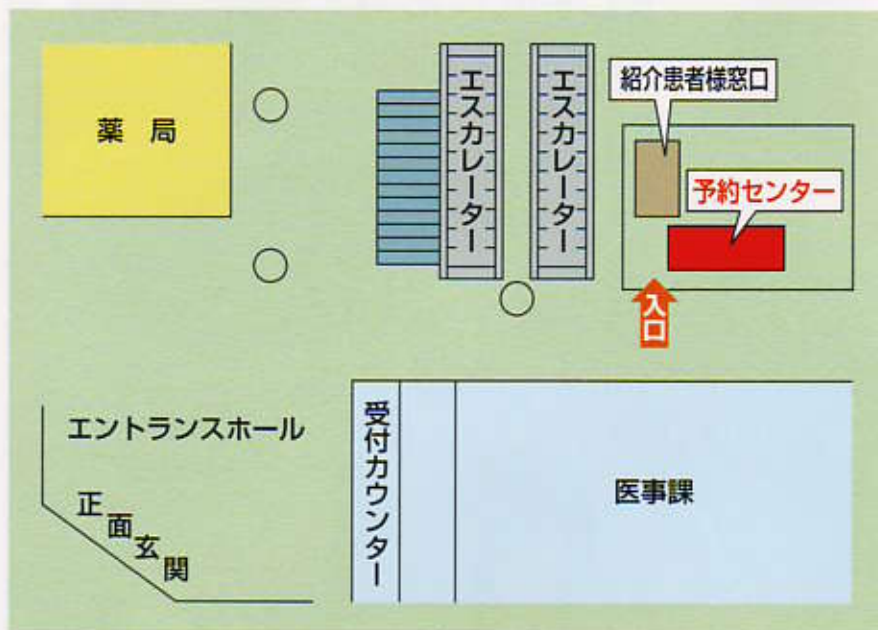
予約日は、予約時刻までに自動再来受付機で来院確認の受付をして外来で順番まで待つようになります。従来のように早朝来院しての受付後からの診察までの待時間は大きく短縮されております。

なお、予約日に不都合が生じた場合は電話にて変更可能となりました。この場合、診察日には、予約センターで変更後の診療予約

票を受取って外来で待つこととなります。

診察日の予約時間は診療上の都合で遅れる場合がありますがご了承下さるようお願いいたします。

当院では今後とも予約診療科の拡大と待時間短縮に努めて参りたいと考えております。不明の点は、予約センターへお問い合わせ下さるようお願いいたします。



彩食健美

生なすとトマトのガーリックオリーブ和え



【材料】(4人分)

なす	3個
トマト	2個
赤唐辛子	1本
ドレッシング	
おろしニンニク	1かけ分
レモン汁	1/2個分
オリーブオイル	大さじ5
塩・こしょう	各適宜
パセリ	適宜

〈1人分〉エネルギー 125kcal

【作り方】

- ①なすはへたを取って乱切りにし、塩水(水カップ2・塩大さじ2)に約10分つけ、水気を絞る。
- ②トマトはくし型に切り、赤唐辛子は種を取ってみじん切りにする。
- ③ボウルにドレッシングの材料を入れてよく混ぜ、赤唐辛子と①の加えてよく混ぜる。
- ④トマトを加え、軽く混ぜ器に盛り付ける。

野菜は毎食しっかり食べたい食材です。そんな時にぴったりの料理をご紹介します。夏が旬の「なすとトマトのガーリックオリーブ和え」です。

一年じゅう出回っている、なすやトマトですが露地物の旬は夏。なすの皮には抗酸化物質のアントシアニン、トマトにはビタミンC・E・β-カロテンが豊富に含まれます。なすのアクには解毒作用があり夏のほてった体に清涼感を与えてくれます。食欲のない時には是非お試しください。

野菜はビタミン類やミネラル・食物繊維を豊富に含んでいます。緑黄色野菜には動脈硬化の原因となる活性酸素の働きを抑える抗酸化ビタミン(β-カロテン・ビタミンC・ビタミンE)が多く、淡色野菜にはビタミンCが豊富です。また淡色野菜にも抗酸化物質の(アントシアニン・ポリフェノール)が含まれています。

★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②名付けの理由
- ③子どもに願うこと
- ④ご両親の決意を一言

データ

さとうともや
佐藤 智哉 くん

- 平成15年1月15日
1時34分生まれ
- 体重2830g
- 父：佐藤 正昭さん
母：佐藤 正子さん



データ

よし だ たく み
吉田 拓未 くん

- 平成15年1月14日
12時33分生まれ
- 体重2755g
- 父：吉田 強さん
母：吉田ひとみさん



智哉くんとお母さん

- ①ちっちゃい、やっとあえてうれしかったです。
- ②才能、感情とも豊かになるように。
- ③男の子なので元気よく、また思いやりのある子になってほしいです。
- ④子供第一！
理解のある親をめざします。



拓未くんとお母さん

- ①すごく感動してしまいました。自分の子ながらとってもかわいいと思いました。
- ②健康で大きくのびのびと育てたいです。
- ③一生懸命育てて行きたいと強く決意しました。

オープンシステム情報ネットワークは今回お休みさせていただきます。

編集後記



年を重ねるにつれて、時が早く過ぎていくように感じるのは、気のせいでしょうか。

忙しいと、その日一日を振り返る余裕もなくて、気がつくで一週間、一ヶ月と過ぎてしまっていて、「今月は早かったなあ。」などと、呟いてしまうのは、私だけではないと思います。ある本に、「今日は一生分の一日」という言葉がありました。楽しい日でも、悲しい日でも、充実した日でも、どうでもよく過ごした日でも、その人にとって「一生分の一日」であり、決して同じ日ではないのです。

学生のころは、新学期の度に新しい文房具を買い揃え、目標なども立てたりして気分も一新させる機会が年に何度かありましたが、社会人になってからは、そういう機会もほとんどなくなってしまいました。

そこで、私は日記をつけることにしました。日記をつけることで、その日を振り返り、反省もできるからです。

皆さんは、「一生分の一日」をどう過ごされていますか。(久下薫「結婚退職」)

太田西ノ内病院広報委員会

委員長 須田 秀一

委員 小池 修・遠藤めぐみ
朝倉 俊成・後藤 桂子
松田美津子・荒川 幸徳
木原 均・鈴木 理恵
佐藤 浩徳(幹事)